

平成30年度 第3回 消費生活モニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎暮らし向きについて

平成30年12月の月例経済報告（内閣府）では、「景気は、緩やかに回復している。」と報告されています。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある、としています。

このアンケートは、毎年ほぼ同じ内容で、消費者の暮らし向きの実態や意識を調査する目的で実施しています。過去の調査結果と比較することで消費者意識の変化を把握するとともに、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

◎食品ロスに関する意識調査

日本では、年間約2,842万トンの食品が廃棄されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品（いわゆる「食品ロス」）は、年間約646万トン※といわれています。この食品ロスのうちの約45%は家庭から排出されており、1人あたりの食品ロス量は、1日約139g（茶碗約1杯のご飯の量）と試算されています。現在の日本では、食べ物が豊富にあることが当たり前となっており、「もったいない」というモノを大切にする意識が薄れているように思われます。そこで、「食品」に関する意識調査を実施し、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

※…平成26年度推計値

2 調査事項

「暮らし向きについて」、「食品ロスに関する意識調査」

- | | | |
|-----------|----------------|-----|
| 3 調査対象 | 平成30年度消費生活モニター | 20名 |
| 4 調査方法 | 郵送（往復） | |
| 5 回答数・回答率 | 19通・95% | |

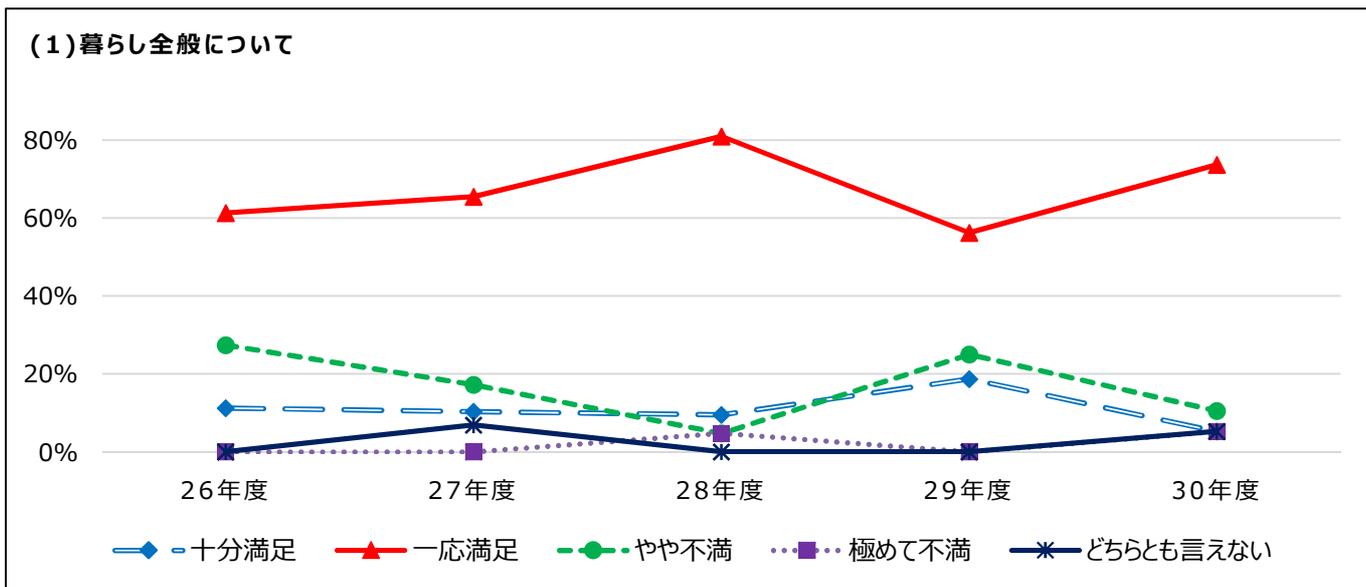
●集計結果について、四捨五入の結果によって合計が100%とならない場合がございます。

●回答は一部抜粋。

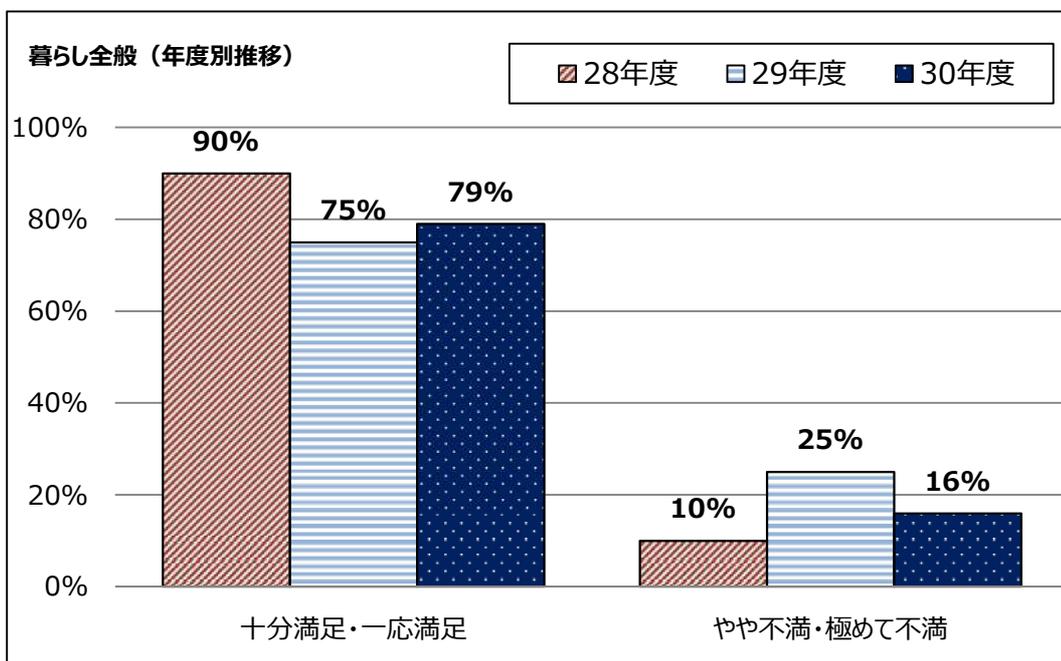


暮らし向きについて

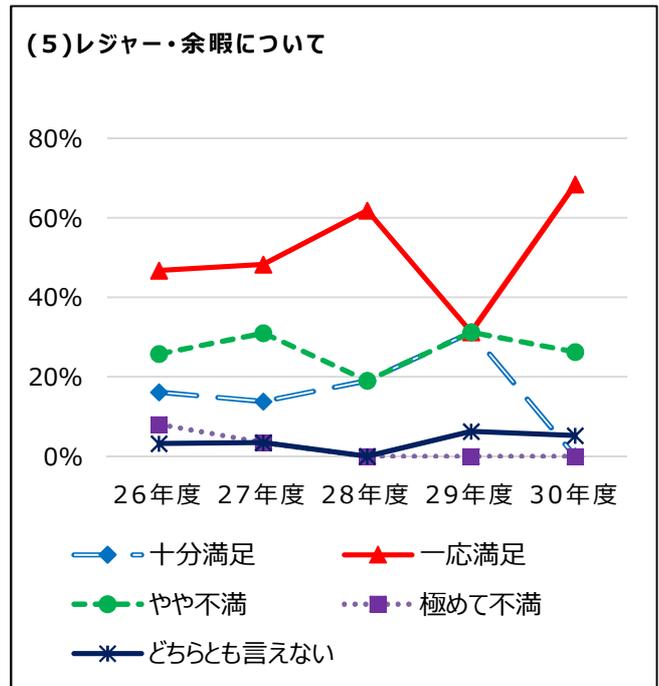
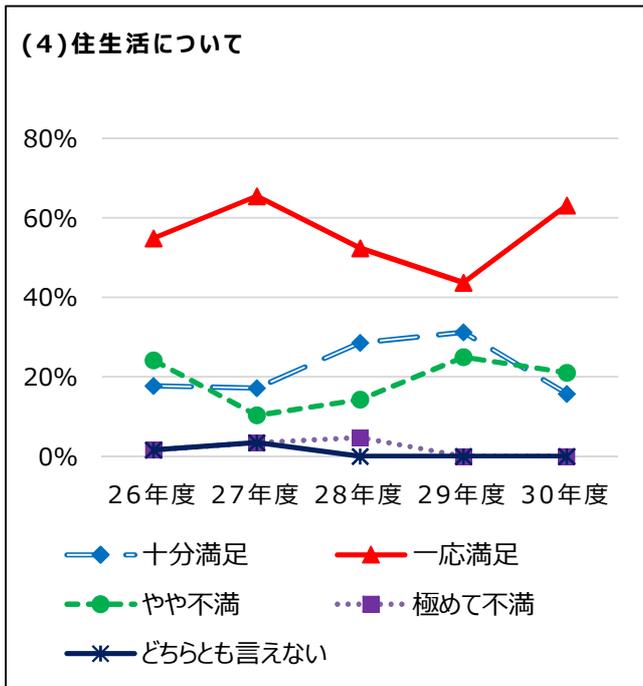
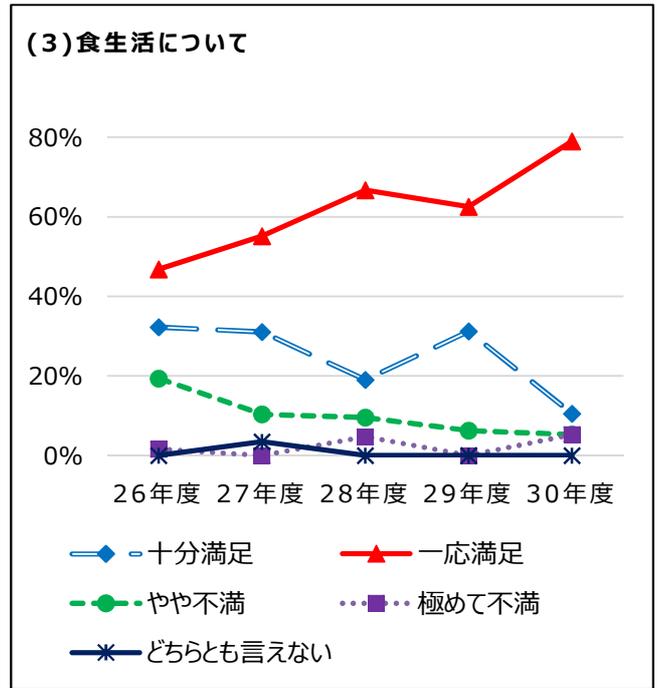
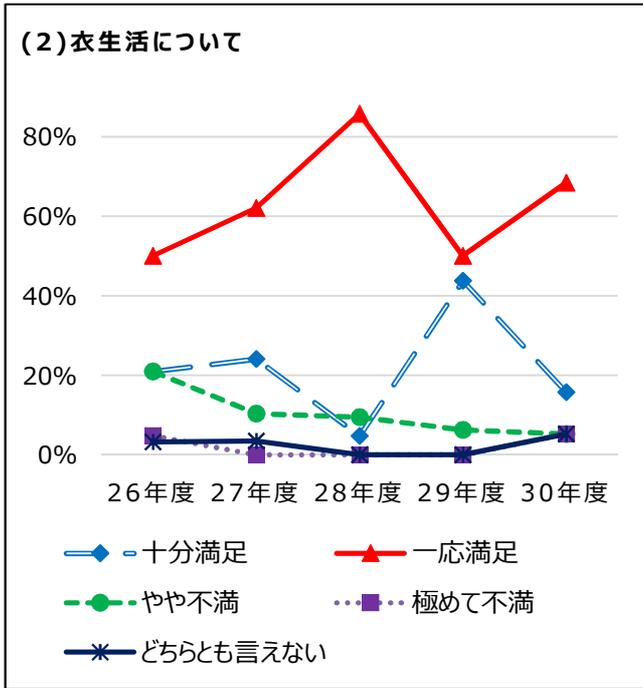
問1 あなたの家庭の暮らし向きについてお伺いします。(1)暮らし全般について(2)衣生活について(3)食生活について(4)住生活について(5)レジャー・余暇の生活について



★ 暮らし全般については、『一応満足している』『極めて不満』が昨年より増加し、『十分満足』『やや不満』の回答が減少しています。



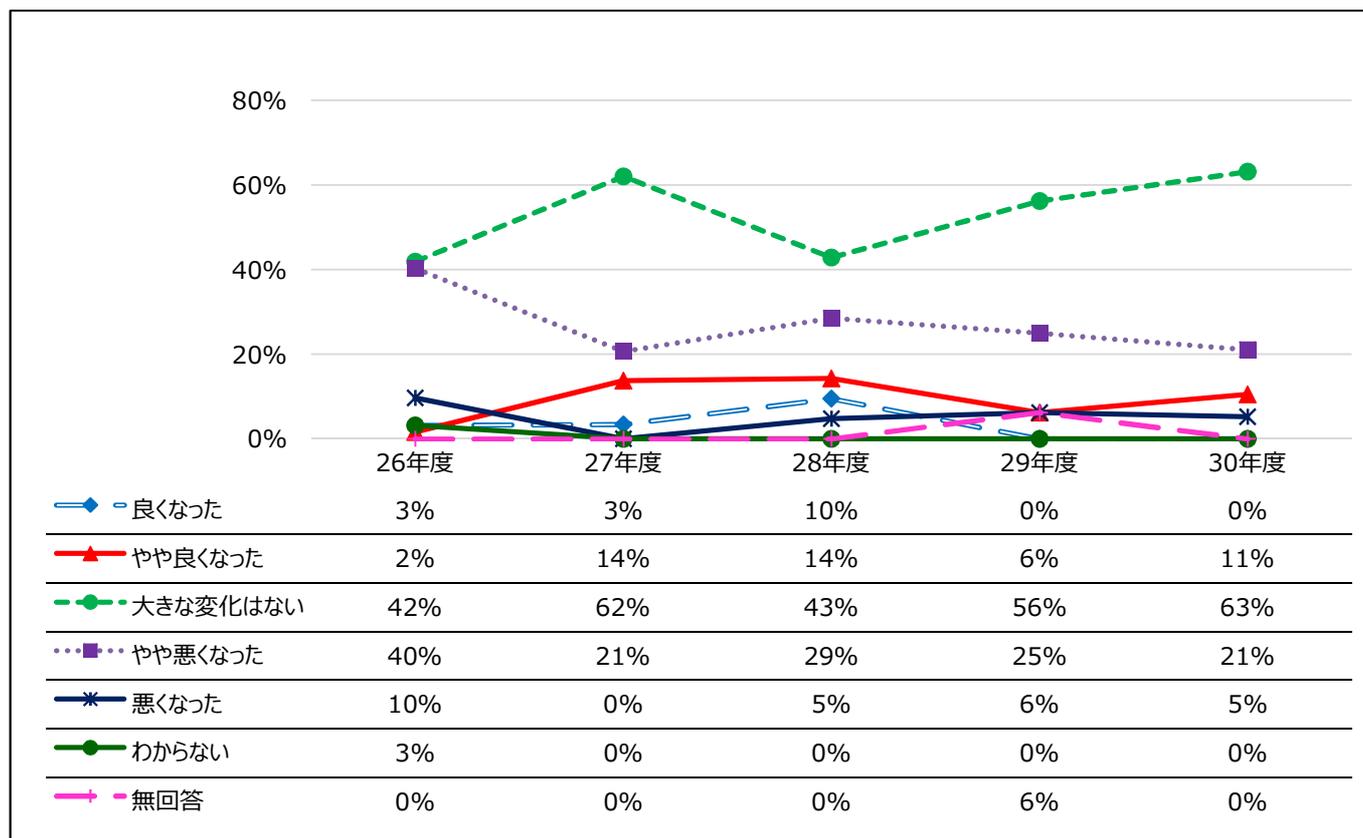
また、暮らし全般の満足度について、平成 30 年度は『十分満足・一応満足』の割合がやや増加し、『やや不満・極めて不満』の割合は減少しています。



★ 全ての項目で「十分満足」と回答した方は昨年よりも減少し、「一応満足」と回答した方が昨年よりも上昇しました。



問2 あなたの家庭の暮らし向きは、昨年と比べて変化はありましたか？



★ 暮らし向きについて、「大きな変化はない」と回答した方が一番多く、63%となりました。「やや良くなった」と回答した方は5ポイント増加し、「やや悪くなった」と回答した方は4ポイント減少しました。

《具体的な理由》

やや良くなった

- 昨年に比べて若干ですが、自由に使える家計のお金が増えたので。
- 主婦でありながら仕事ができ、夫の扶養控除の金額が130万円以内に上がったので。

大きな変化はない

- 3年前は私が仕事を辞めたり、親の介護が始まったりで、大きな変化がありましたが、昨年→今年はほとんど変わらない暮らしです。
- 65歳からの公的年金の他に、個人年金も入るよう、40歳台の頃から用意してあったため。これからも大きな変化はないと思う。
- 年金収入ベースの生活で、生活リズムが一定で安定しているため。とりあえず健康面での大きなトラブルがないため。

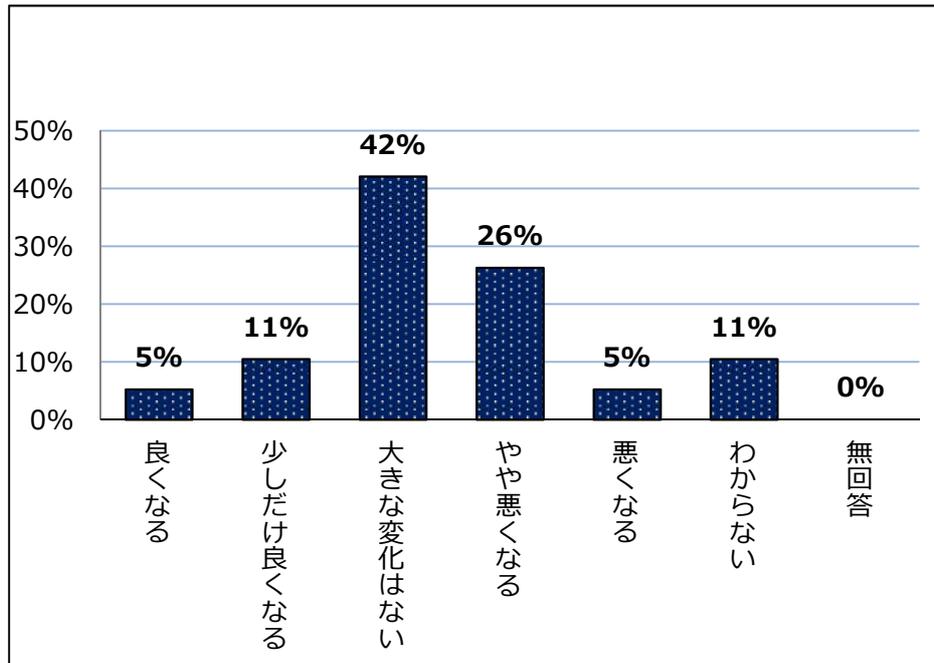
やや悪くなった

- 収入（年金等）が減少、支出増加傾向が顕著（強くなっている）
- 子供が進学し、大学生が二人になりお金がかかるようになったから。

悪くなった

- 家族の一番大切な両親の一人、母親が永眠いたしましたので、我が家の暮らしに大きな変化がありまして、心に穴が開いた事は、今でも続いています。

問3 あなたの家庭の暮らし向きは、来年の今頃にはどのように変化していると思いますか？



《具体的な理由》

良くなる

- ・今年、母親が永眠して、両親二人が永眠しましたが、在宅で介護して二人から学んだ事、教えて頂いた事、特に人間とはを教えて頂き感謝しています。学んだ事を来年に実行します。

少しだけ良くなる

- ・夫の給料が上がる。私の（妻の）年収が増える。

大きな変化はない

- ・家族構成（夫婦二人）も変わらず、仕事もそのまま続いているから。
- ・年金収入ベースの生活で、生活リズムが一定で安定しているため。とりあえず健康面での大きなトラブルがないため。
- ・所得が大きく増えることが想像できないため。
- ・住宅ローンや学資保険等の大きな支出は変わらず続くため、収入の中のそれなりの割合が消費される状況は、来年も今年と同じと予想されるので。

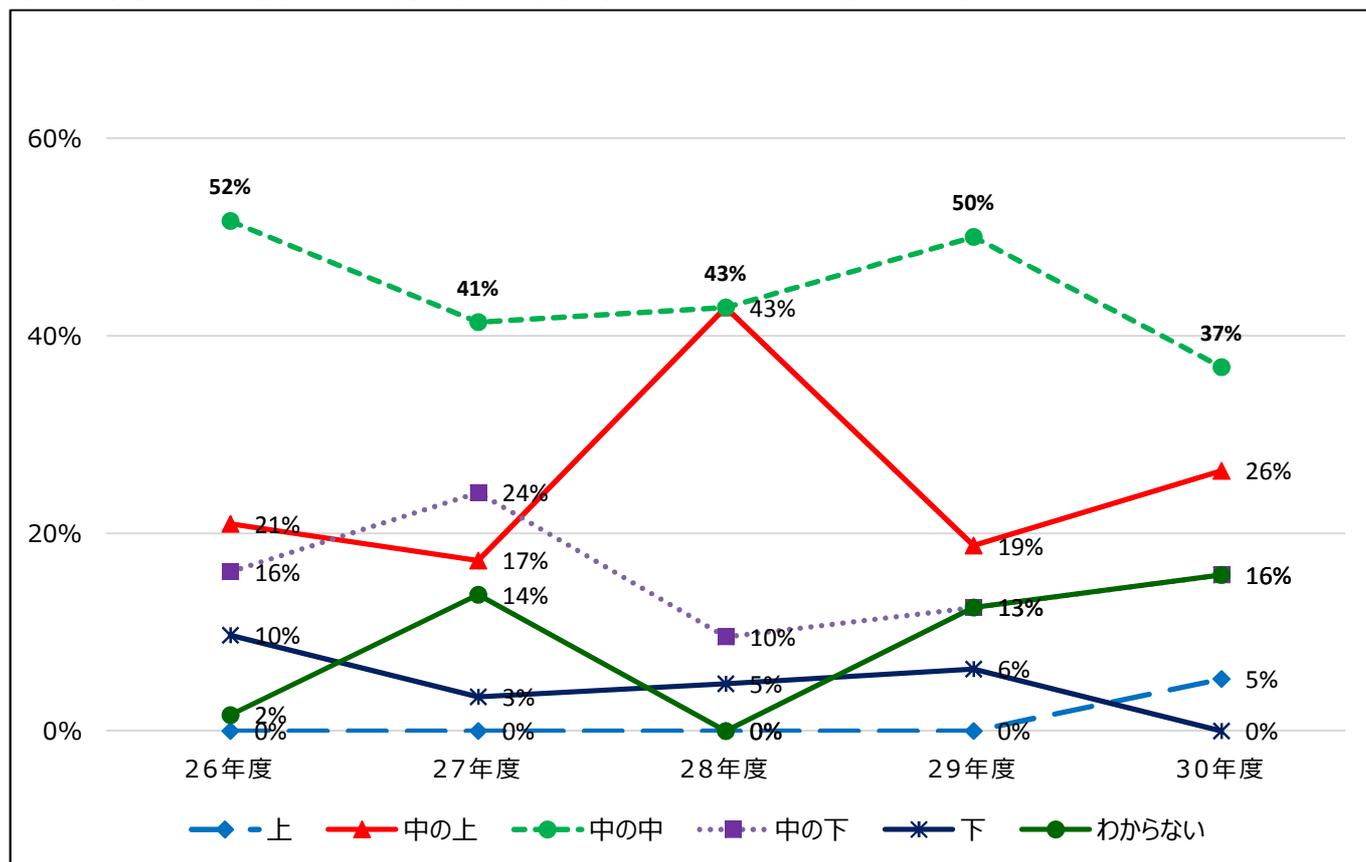
やや悪くなる

- ・家族が退職する年齢になり、再雇用の形をとるにしても、収入減少は免れないはずなので。
- ・消費税問題など不確かなマイナス要因があるから。
- ・収入（年金等）より支出が増えてきている（持ち出し赤字）。

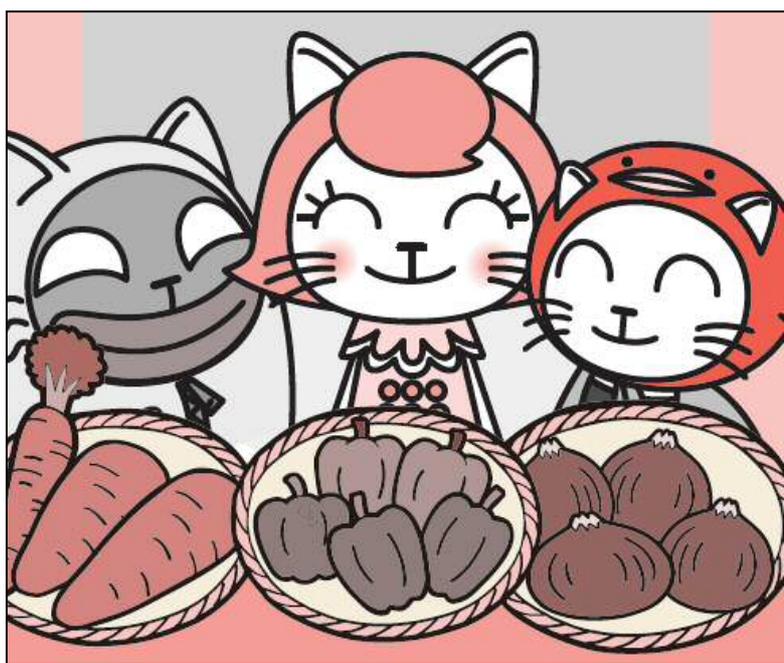
悪くなる

- ・夫が定年を迎えるから。

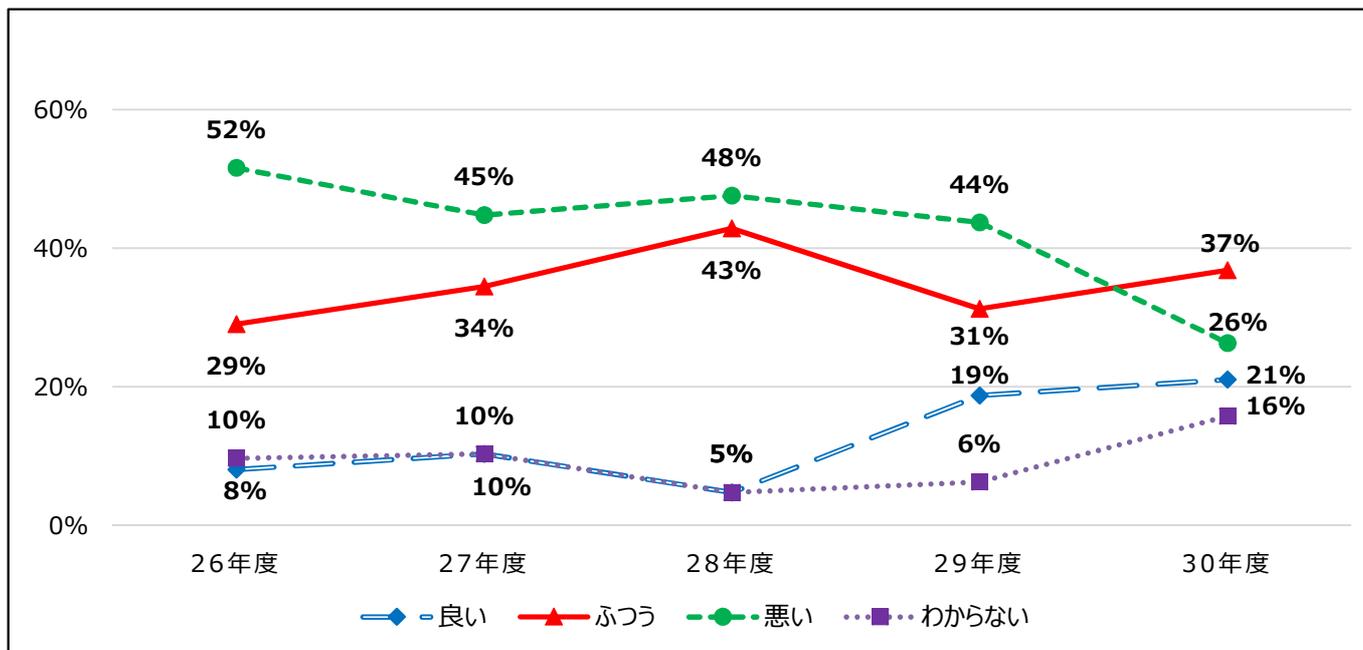
問4 あなたの生活水準は世間一般から見て、どこに当たると思われますか？



★ 「中の中」と感じる方が最も多く、37%の方がそう感じています。「中の上」と感じる方は昨年よりも増加しています。



問5 現在、あなたは景気についてどの様感じていますか？



★ 景気について、「悪い」と感じる方が、前は44%でしたが、今回は26%に減少しました。また、「ふつう」と感じる方が、前は31%でしたが、今回は37%に増加しています。「良い」と感じる方は、前の19%から21%に上昇しました。

《具体的な理由》

良い

- 百貨店などで客の数が多いと感じる。昨年の夫の会社の賞与がいつもより多かった。
- 大企業中心かもしれないが、給料・ボーナスが上昇している。飲食業を中心として「人手不足」が続いている。全体的に求人倍率が高い。
- 就職状況が良いから。

ふつう

- 景気が回復していると言われているが、実感として感じられていない。
- 上向きでも下向きでもなく、落ち着いていると感じられるので。
- 一昔前より物価が上がったようにも感じるが、現在の状況に、もはや慣れてしまったため。周りを見渡しても、自分のための支出は抑えつつ、子どものために投資するには、比較的意欲的で、その場面には、景気の悪さをあまり感じないため。

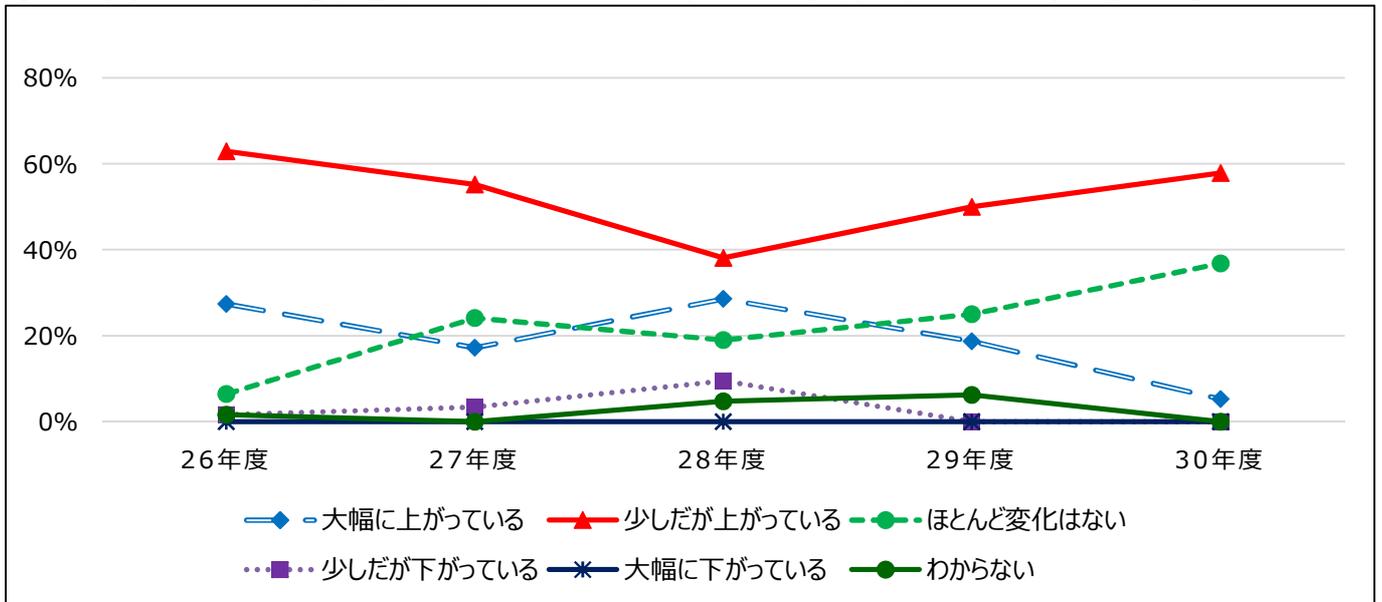
悪い

- 賃金が上がらないこと。自分の仕事だけでなく、世の中の求人を見てもそう思う。
- 物（特に食材（野菜）が高くなっている。）

わからない

- 経済ニュースなどで、悪いと出るとそうかなと思うが、個々の業種、お店にはバラつきがあると思うので。
- 正規雇用と非正規雇用の格差が拡大し、外国人労働者の流入を考えると、社会の不満が増大するとの不安が強い。景気は悪化する方向に動いていると感じる。

問6 あなたが日常生活を送る上で、物価について、昨年の今頃と比べてどの様感じますか？



★ 物価について、「少しだが上がっている」「ほとんど変化はない」と感じている方がそれぞれ上昇し、「大幅に上がっている」「わからない」と答えた方は減少しています。

《具体的な理由》

大幅に上がっている

- 野菜が特に高くなっている（自然災害が一因か？）

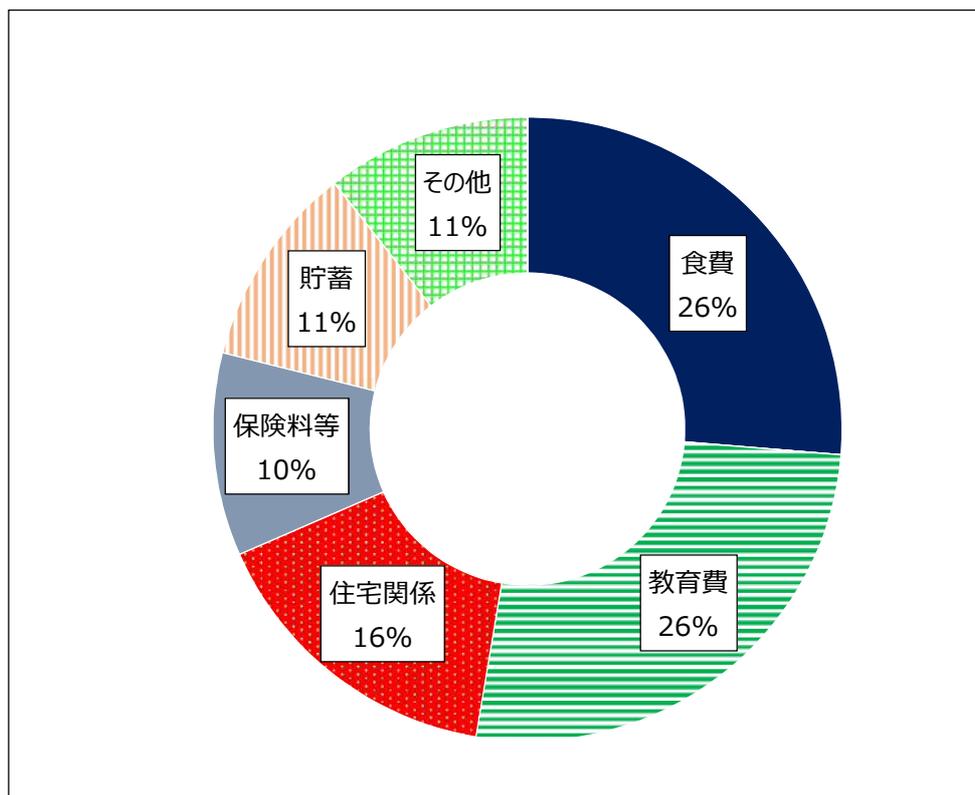
少しだが上がっている

- ずっと同じ価格、もしくは、少ししか値上がりしていないものでも、実は、内容量が減っていたりする。
- スーパーなどの生鮮品や日用品の値段が若干ですが値上がりをして（もしくは定価売りが多くなっている）いる印象が強いので。
- 価格は変わらなくても、内容量が減っている食品が多くある。価格が下がっているものが見当たらない。
- 買い物や飲食店での値上げを感じている。しかし、野菜は高い安いの差が激しく安定しない。

ほとんど変化はない

- 物にもよると思うけれど、あまり感じないので、「変化はない」のでは…と思う。
- 消費が少ないので何とも言えないが、日常生活用品など安売りで買うようにし、生鮮食品も安い物（形は悪くも新鮮とか）を選んでいるので、自分が労を惜しまなければ、あまり変わらない。
- 食品（特に生鮮食料品）等は天候によって左右されるが、その他はあまり変化がないと思う。
- 時価によって変動する物以外は、購入時（支出時）特に物価の変化は感じられないため。

問7 あなたが日常生活を送る上で、現在1番生活を圧迫している費用は何ですか？



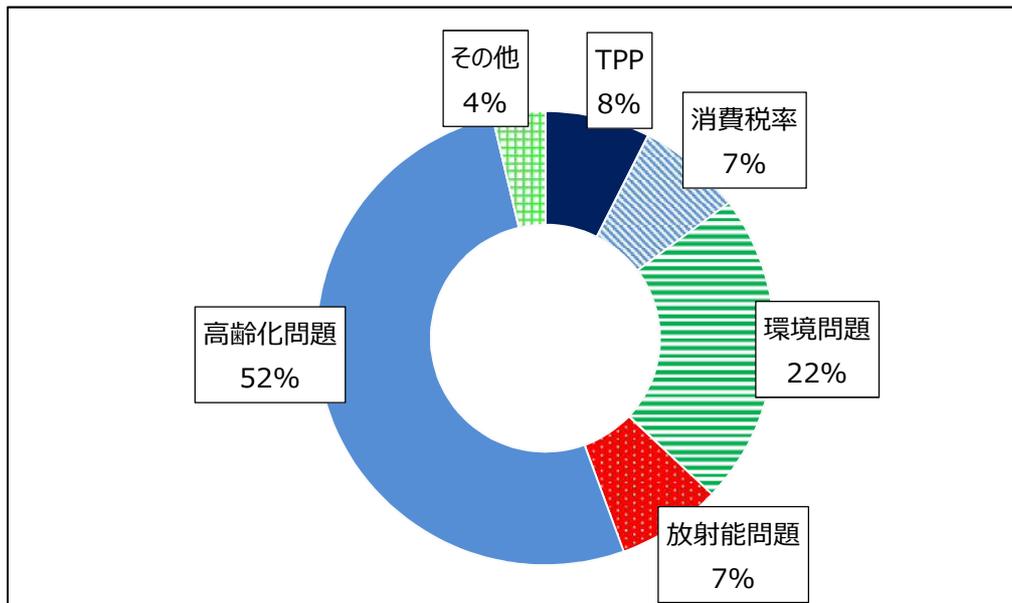
	第1位		第2位		第3位	
平成26年度	食費	32%	教育費	20%	住宅関係	20%
平成27年度	食費	26%	住宅関係	23%	その他	19%
平成28年度	住宅関係	29%	食費	19%	保険料等	19%
平成29年度	食費	31%	住宅関係/貯蓄/その他		19%	
平成30年度	食費/教育費		26%		住宅関係	16%

★ 第1位が「食費」「教育費」の26%で、第3位が「住宅関係」となりました。

《その他・補足》

- (食費) 健康であるためには、口から入れる食物が重要と考え、医療費をかけずに食べる物にかけるようにしている。
- (教育費) 仕事やマナーリテラシーの勉強。政府は、マナーについては、積極的に義務教育にはしていないため。
- (教育費) 子どもの習い事や、高額な塾に通わせなければいけないと考えると気が重い。さらに、私立中学だと、高額になるから。
- (その他) 現在は、ひと通りの健康状態にあるが、病気・けがで将来的出費が大きいという不安がある。

問8 あなたが、暮らしの中で不安に思うことはありますか？



★ 「高齡化問題」、「環境問題」、「TPP」、「消費税率」、「放射能問題」、「その他」の順となりました。
《補足意見》

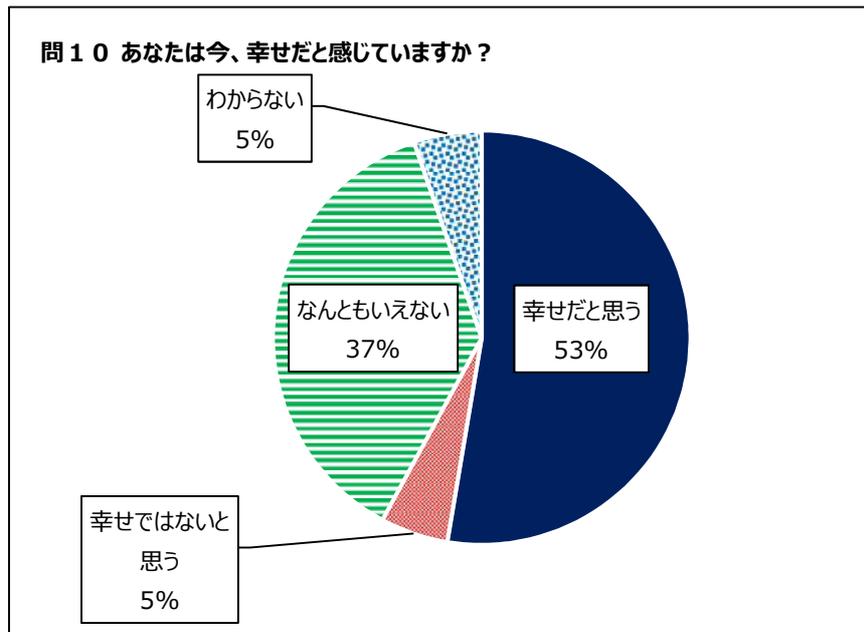
- ・(TPP) 12月に始まりましたが、農業以外にも生命保険・医薬品など多岐にわたり、国際的な取り決めが実行されるので、今後どのような影響が日本に出るのかが、不安です。特に農業は、モニターの大きな課題である食品が外国産の関税がどうなるかで自給率が低下するか不安です。
- ・(消費税率/環境問題/高齡化問題) 少子高齡化で、基礎年金受給が遅くなり、金額も減るのではないかと。増税は続くが、給与は上がらないのではないかと。
- ・(環境問題) どの問題も不安を感じていて、その大小軽重どれが1番という事でなく、不安に思っている。
- ・(高齡化問題) 病気・けがによる医療費、生活環境変化に伴う居住費用の変化。
- ・(高齡化問題) 老人が増えて、自分も以前より年を感じるようになり、今までみたいに生活できなくなることが不安です。
- ・(高齡化問題) 今まで日本が経験したことのない超高齡化社会を自分はどう生きていくのか想像できない。
- ・(その他) 国際情勢(特に中国や韓国との友好関係の悪化)
- ・(その他) 長生きしてしまったら、生活できなくなる。人生80年ぐらいに考えていたのが、急に100年時代と言われるようになり、生活設計が大きく変えなければいけないのではと考えるようになった。

問9 あなたにとって「ゆとりのある生活」とはどのような暮らしですか？

《自由意見》

- ・60歳を過ぎまして、やはり一番に考えなければならないのは健康です。加齢と共に自然に機能が下がる臓器がありますので、体調の変化がなるべく起きないように、食事、運動などで健康を保ちたいです。
- ・自分が年をとった時に、一切、お金の心配をすることなく、子や孫に、お金をかけてあげられる暮らし。
- ・家族や身近な人が心身ともに健康に暮らせること。人を思いやる余裕が持てること。
- ・お金の心配をせずに暮らせる生活
- ・自身の貯蓄と年金(今後制度改正なく確実に受け取れる) 経済的基盤の下で精神的にも物理的にも余裕のある暮らしを送れること。そして今後、疾病や変事があっても、踏んばれる金銭的ゆとりがある生活です。

問10 あなたは今、幸せだと感じていますか？



《具体的な理由》

幸せだと思う

- ・ 困ることや悩みは色々有るけど、家族や友人に恵まれていると思うので。
- ・ 家族と生活ができています
- ・ 家族が健康で、(毎日ではないが)一緒に食卓を囲む時間を創り出せているので。
- ・ 大きな病気もなく、家族みな元気に過ごせているから。
- ・ 家族全員健康
- ・ 家族、両親が元気で暮らせているので。
- ・ 子どももいて、夫も安定した収入があり、自分も働いて、社会貢献できていることが充実している。
- ・ 家族皆、健康だから

幸せではないと思う

- ・ 未就職の子供がいる社会的引きこもりのようで自立できるか心配。

なんともいえない

- ・ 先の質問でも書きましたが、大切な両親の一人、母親が永眠しましたので、気持ちは何とも言い難いのですが、自分のできる事、母親が望んだことが思いのほかできました。
- ・ 欲を言えばキリが無い。無理にでも幸せと思うようにしている。
- ・ 今、人生の岐路のため、いろいろもがいている。
- ・ 健康なので、幸せと感じている面が多分にあるので、幸せと思う。
- ・ 現在は、幸せと言えるが、将来のことを考えると見通しが立たず、不安である。
- ・ 幸せだと思う時もあれば、幸せでないと思う時もあるので。

わからない

- ・ 何と比べて？昔の自分と比べて？周りと比べて？主観的にはわからない。

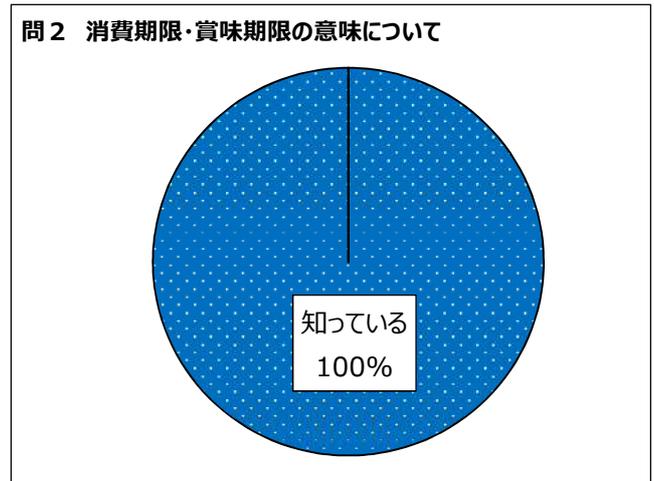
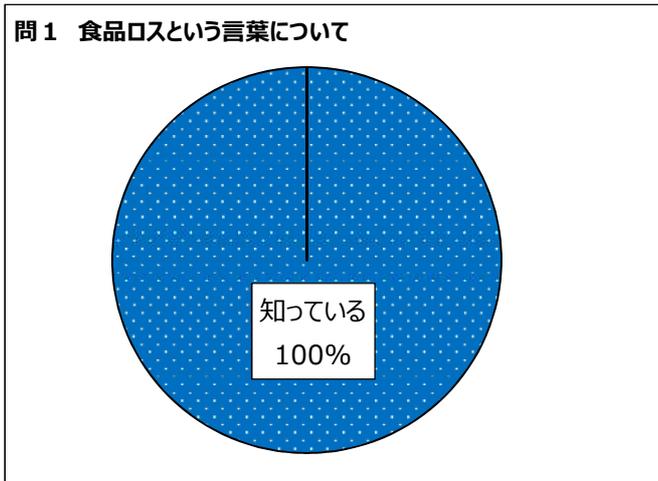
問11 消費税率が、平成26年4月から8%になりました。御自分の生活にどのような変化がありましたか？

- 母親の介護をしていましたので、殆ど家から出る事がなく、食品も店で売っている例えば魚の刺身などの他は、母親が食べやすいようにキンピラゴボウやかぼちゃの煮物などを料理するための材料を買うくらいですので、自分、我が家では影響は殆ど無かったです。
- 『99円(税込107円)』の税込額の部分をよく見るようになってきたり、『税抜108円』という表示にだまされないようになってきた。税込で108円だと思っでしょ…実は116円!!…と知っているからでしょうか。最初から、税込価格で表示している店は「良心的」「安い」と感じ、そこで買い物をするようになった。
- 8%になった当初は、「消費税高い!」と感じましたが、今は慣れてしまったので、生活には特に変化はないです。昨年、冷蔵庫と掃除機を購入しましたが、値引きやポイントサービスなどもあり、あまり消費税のことは気になりませんでした。
- 生活に大きな変化はなかった。強いて言えば、1円玉と5円玉が貯まったこと。
- 5%から8%に変わる直後は、世間が電気製品の買い替えなどで奔走したように、わが家も同様でしたが、今は慣れてしまいました。
- 税率が上がる前に住居の購入をした事もあり、お得感がありました。その後、税率が上がると、普段の買い物の時に税込なのか税抜価格なのか、店によって表示方法が異なり、単価の高い商品は買い控えをするなど、混乱した時期がありましたが、しばらくすると増税前と変わらず買い物をしていたように思います。
- 毎日の食費も、一つずつはさほど高いとは感じなくても、1か月とまとめると、やはり出費が増えているとわかる。
- あまり深く考えず、言われた通りに払っている。
- 100円ショップで+3円かかる。300円のものを買うと、10円くらい上がるので、あー、お金かかるなど感じる。消費増税するのはいいが、どうせなら、スイス、スウェーデンのようにしてほしい。
- 税率UP時点では、支出にインパクトがあり、苦しく家計を圧迫し、今もそれが続いていて、少しでも収入を増やすため、バイトしている。軽減税率の対応(やり方)を細かく、実態に合うよう丁寧に配慮するべき。
- 特に変化なし。日本はまだまだ低い方。止むなし!!
- 物価があがった。消費の満足度が減った。
- 消費税率UPに伴い、コストが生活に直結するので、防衛的生活となっている。将来への不安が高いため、お金の使い方は抑制的である。
- 増税直後は税率分値引セールなどがあり、その後、慣れてしまった感じで、当時は大きな生活の変化はなかったと思う。
- 物を購入する時に、検討する時間がその前よりも長く(慎重)になった。
- 消費(支出)をさらに控え、節約するようになった。
- 節約するようになったが、ポイント、割引を使って、得をすることも楽しみになった。
- 大型家電の購入やホテルの宿泊等で税抜→税込で計算すると、“高いな”という印象を持つようになった。

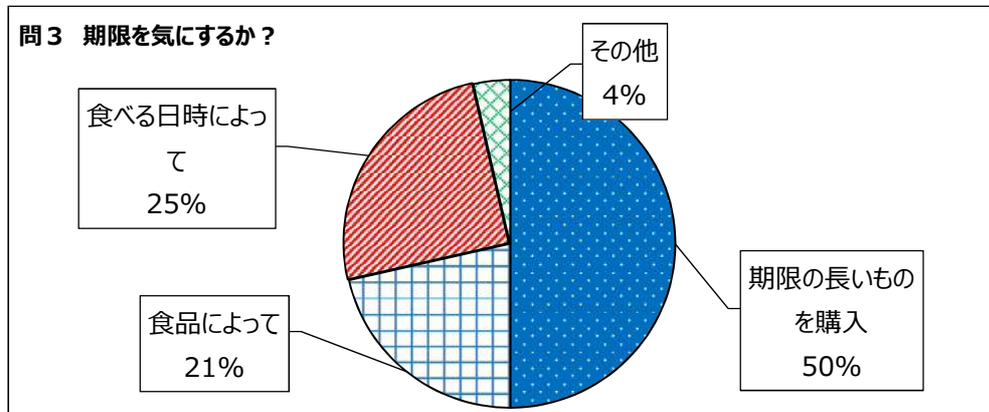
食品ロスに関する意識調査

問1 「食品ロス」という言葉を知っていますか？

問2 賞味期限・消費期限のそれぞれの意味を知っていますか？



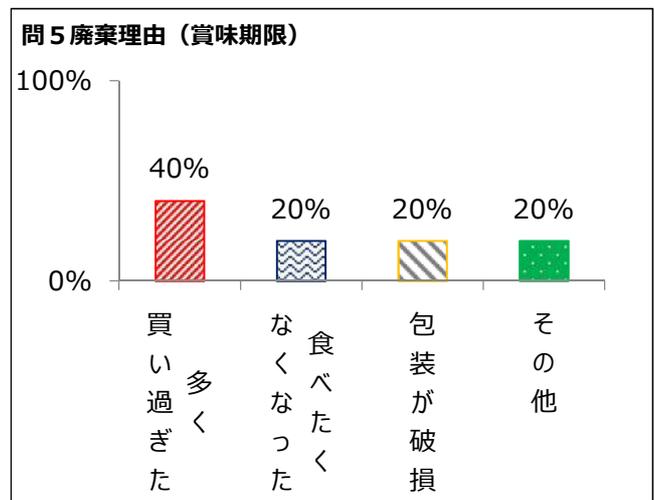
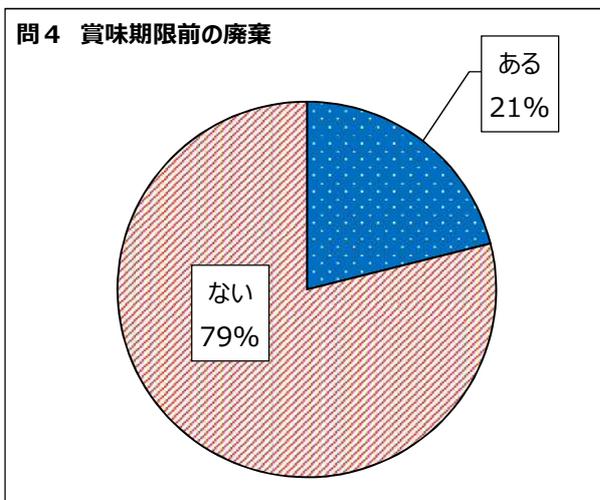
問3 買い物をするとき、期限を気にしますか？（複数回答可）



《補足意見》 期限の切れる真近なものを安く売るので、買っている。

問4 賞味期限（おいしく食べることができる期限であり、期限をすぎてもすぐに食べられないということではない。主な食品は、カップ麺や缶詰など）前に、食品を廃棄したことがありますか？

問5 賞味期限前に廃棄した理由はなんですか？（複数回答可）

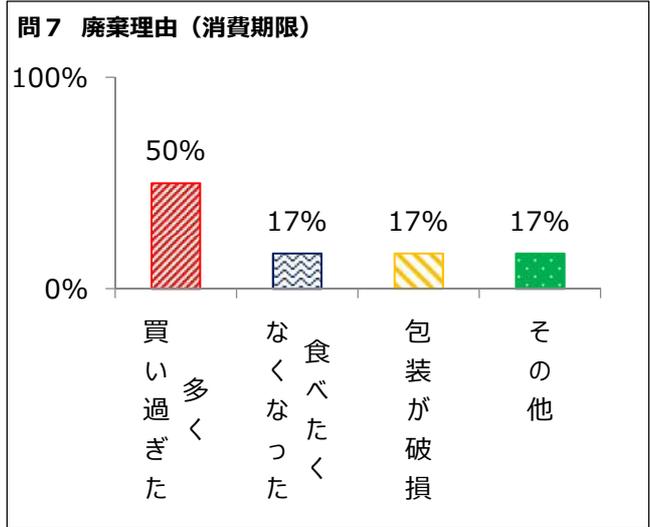
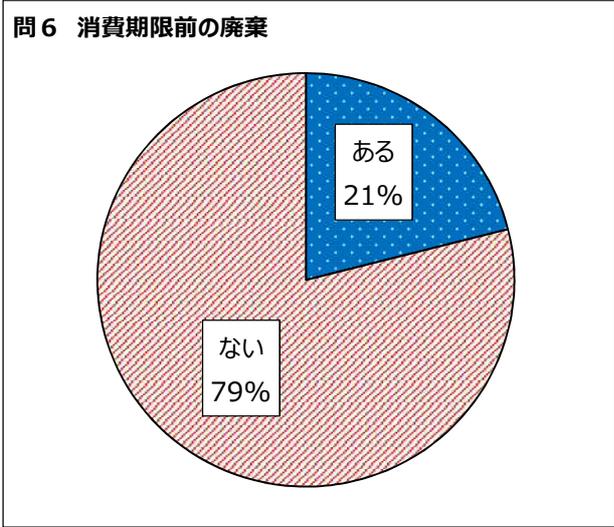


《補足意見》

- ・とうもろこしの缶詰を購入して、缶を開けた時にドロドロしていたので、その場で廃棄しました。
- ・在庫を確認せず、「安価」と思えば（今しか買えないと思い）買ってしまう。

問6 消費期限（期限をすぎたら食べない方がいいもの。主な食品は、サンドイッチやお弁当など）前に、食品を廃棄したことがありますか？

問7 消費期限前に廃棄した理由はなんですか？（複数回答可）

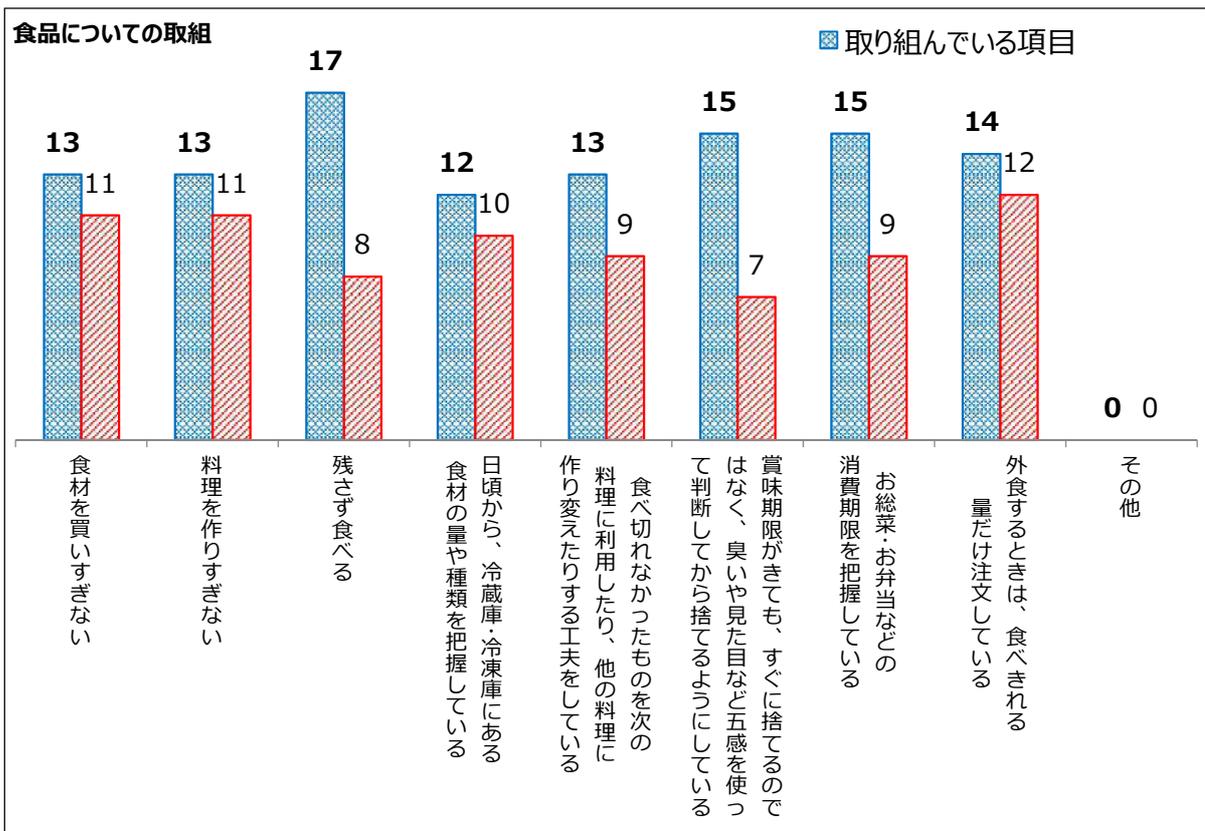


《補足意見》

- ・安いと思って買ってしまっただが、自分で料理できなかった（料理の仕方の表示を見て、これならできるかなと思ってしまった）。

問8 次の項目で、A：すでに取り組んでいる項目はありますか？

B：今後取り組んでみようと思う項目はありますか？



《その他・補足》

- ・買い物に行く前にストックをチェックする。安いからとまとめ買いをしない。見えない収納をしない（透明なものに入れる。しまいこまない。）。

問9 あなたが普段実践している食品ロスを減らす工夫、もしくは、あなたが実践することで食品ロスを減らせるアイデアがありましたら、自由に御記入してください。

- 第2回の意見交換会で「食品衛生から見た食の安全について」の話しが聞けて、とても嬉しかったです。話の中でも、食中毒を起こす細菌について詳細に述べて頂きましたが、やはり食品は鮮度が大切で、どうしても病気などの原因を起こす細菌が発生しますので、食べる数だけ購入しています。
 - 今日、明日、食べると分かっているものなら、売り場では、賞味期限の短いものを選んで買う。（世の中全体の食品ロスを防止する。）
 - 牛乳やヨーグルト、納豆、豆腐などは、確実に食べる物なので、陳列棚の手前（消費期限の早い物）から取るよう心掛けています。
 - 問8の「6」は誰もができないし、体調によってもできない場合があるので、注意する必要がある。
 - セールや安い時に食品をまとめ買いし、貯蔵庫に保管しているのを忘れて、期限切れになってしまふことがあるので、決めた保管場所に納まる分以外は買わないようにする。
 - 買い物の前に冷蔵庫の中をチェックして、必要な物だけスマホにメモをして出掛ける。食材の量を可視化できるよう、ストックする際も収納の工夫をする。食べ切れなかったら保存容器や袋に入れて、冷凍する。
 - あまり大量に買い込まず、使いきれ的分を考え、少しずつ（少量のもの）を買っている。
 - 買ってきたものはすぐ調理し、すぐ食べないものは、冷凍保存やジャム・漬け物（ピクルスなど）にする。鮮魚など閉店間際に安くなるもので、冷凍しても大丈夫なものは下処理して冷凍しておく。
 - 買ったものは小さく小分けにして冷凍して腐らないようにする。賞味期限は全く気にせず、食べられそうなら食べる。
 - 必要なだけ購入する。食べきれない程の量を頂いた時は、近所に分ける。
 - 余分な量を買わない。もし買ってしまったら調理して、冷凍保存をする（冷凍不可の食品もあるので気を付ける）。
 - 期限が近い商品は、値下げすれば、みんな買うようになると思う。個人的には、まとめ買いをしない等。
 - ①必要な物を必要なだけ買う。②自家用車でのまとめ買いをしない。
 - 冷蔵庫の中に、“早く食べる物”スペースを作っている。賞味期限の長いものでも、なるべくストックせず、必要な分だけ買って、すぐに使うようにする。いただき物の調味料など、使いつけないものは、開封後、積極的に使って、使い切ってしまう。残しておく、死蔵になってしまうので。
 - 必要なものだけを購入し、もし余るようなことがある場合には、他の人（近所の人、職場の同僚等）に配るなどして、極力食品ロスを減らすことを意識している。
 - 野菜を作っている友人から時々、大量に野菜をもらうが、傷む前に様々な調理方法（いためる、煮る、漬ける、蒸す等）で消費し、それでも余ってしまう（使い切れない）場合は、干して、長時間保存できるようにすることで食品ロスを減らしている。
- さつまいも→干しいも　大根→切干大根等

- ・たくさんもらったら、他の人におすそわけする。スーパーの割引を利用する。
- ・具沢山の味噌汁やカレーライス等を作り、野菜や冷蔵庫内の余り物を定期的のリセットとする。ブロッコリーやキャベツ等の芯は、柔らかくゆでてブレンダーにかけ、スープやホットケーキにする

問 10 その他ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・「食品衛生から見た食の安全」とても勉強になりました。自分の知識でもたんぱく質には必ずりんが含まれているので、たんぱく質は体を作る大切な成分ですが、摂り過ぎても有害物質であるりんを多く摂取してしまうので、食品の安全を考えた食事が重要だと強く考えます。
- ・今日、明日、食べると分かっているものなら、売り場では、賞味期限の短いものを進んで買う。(世の中全体の食品ロスを防止する。)
- ・…とはいえども、なるべく賞味期限の長いものを選びますよね…。賞味期限が近いものに、割引シールが貼ってあったら買うかも？でも、ご近所さんに会うと気まずい…。シールを貼らずに、賞味期限が近いものは、レジで自動的に割引なら堂々と買えるのになあと思ったりします。
- ・十分に食べられない人達がいる一方で、食品が捨てられているという現実。そこがうまく流通すれば両者にとっても環境にもよいと思います。既にそういった取り組みが行われているところもあると思いますが、少しずつ広がっていくといいと思います。
- ・手間はかかるとは思いますが、商品の量り売り、飲食店での量による価格設定。
- ・災害用の備蓄品はつい消費期限を見逃しがち。(ボランティア活動?) 廃棄する前にどこかで有効に使ってもらえるように受付があれば利用しやすいかも。
- ・一定の時間にスーパーなどで値引シールを貼った商品がありますが、自分が日頃買っているものや、試してみようかなと思う新しい商品は積極的に買っている。新しい日付けのものを買っても、冷蔵庫の中や買いだめで古くしてしまうこともあるので、こんなことでバランスを取っているつもり。
- ・「消費期限迫るとLINEで通知」食品ロス削減のためにポイント上乘せ還元率を高くする(日経/2019.1.3朝刊)。早く実現されること望む。
- ・買い物袋のビニールからの脱却が叫ばれているが、食品パッケージの少量化、リサイクル化が重要と感じる。ビニール袋を有料化しても、食品パッケージのゴミが減らなければ、ゴミ問題は深刻化するばかりと思う。
- ・飲食店において、食べ残しについて積極的に持ち帰り(ドギーバック)を推進していく風習ができればよいのかなと考えます。(色々難しい問題はあるのでしょうか。)
- ・ネット社会なので、ジモティーや、メルカリなどで、金銭を使わず、お互いの不要な食品を物々交換できたら、お得だし、ロスもなくなる。食品は、知らない人からもらうのは抵抗があると思うが、お互いに、食品を出しあうのだからある程度、信頼できる。

